

ちょこっとチャット

ちょこっとチャットはその名のとおりに「ちょとしたおしゃべり」の時にとても便利な質問カードです。カードの質問に答えるだけの簡単なゲームですが、参加者の気持ちをほぐし、話しやすい雰囲気作りに役立ちます。カードに対して無理に答える必要はなく、また誰かが答えている時には黙って聴いてあげることで、自然と安心空間が生まれ、とても自己表現しやすくなります。

現在発売されているバージョンは子どもを持つ保護者向けで、主に子育てや家族に関する質問が100種類入っています。



¥1,470 (税込)

質問カード 100枚
説明書 (使用例付)

寸法 / カード : 58 × 89mm
外箱 : 93 × 124 × 27mm
(タグ 30mm)

監修 : 高山恵子 (NPO法人えじそんくらぶ代表)

使い方

- 質問カードを引いた人が質問に答え、他の人は聴いています。「何も話さないけれど、受け入れられている感じ」を味わうことができます。
- 質問カードに参加者全員が答えます。それぞれの違いや共通点を見つけ、「自分を客観的に見る」「他人と理解しあう」空間を味わうことができます。
- 引いた人が質問に答え、その発言についてみんなで自由にコミュニケーションします。自由に話す中で、「自分のパターン」「どんなとき自然に話せるか」など、自分を知ることができます。

活用場面

保護者会・懇談会・親の会・カウンセリング・グループワーク・研修会など



カード質問例

- ・子どもがいて幸せだなと感じる時はどんな時ですか？
- ・パートナーはあなたの話をよく聞いてくれますか？
- ・「子育て」という言葉で連想することを2つ教えてください。
- ・あなたにとって「理想の夫婦」とは？
- ・結婚後、自分が変わったと思いますか？それはどんなところですか？
- ・パートナーと「子育て」に関して考え方が違うと感じるのはどんなときですか？

関連書籍



**育てにくい子に悩む
保護者サポートブック**
保護者にできること
監修 高山恵子
1,575円 (税込)
学習研究社

インタビュー

してきました。

アンゲーム

インタビューに答えてくださったのは、中学校のスクールカウンセラーさんです。

私はアンゲームの大ファンで、学校でのカウンセリングや、グループワークによくこのゲームを使っています。

ゲームのルールの中に、「人が話しているときは黙っている」というのがあります。子どもとゲームを行う場合は、ある程度信頼関係ができてからにしていますが、話を聞いてもらえる安心感があるので、私が質問しなくても、質問カードを介して、子どもの家族構成や背景が自然と見えるようになってきます。

また、教員同志で行った時も、緊張が和らぎ、場の雰囲気が良くなってきましたので、大人同士のアイスブレイキングにも最適でした。

子どもも大人も、人の話をじっくり聞けるようになり、そうなるのと相手の発言にコメントをしたいと思う気持ちが起きるようです。コメントするため、自分の考えをまとめられるようになるのも、このゲームの特色のひとつだと思っています。

ゲーム終了後は、必ず簡単なシェアリングをしています。やってみた感想を聞く事が、次へのコミュニケーション作りのために大切だと思います。

